

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2017年2月25日～2017年3月3日の推移】

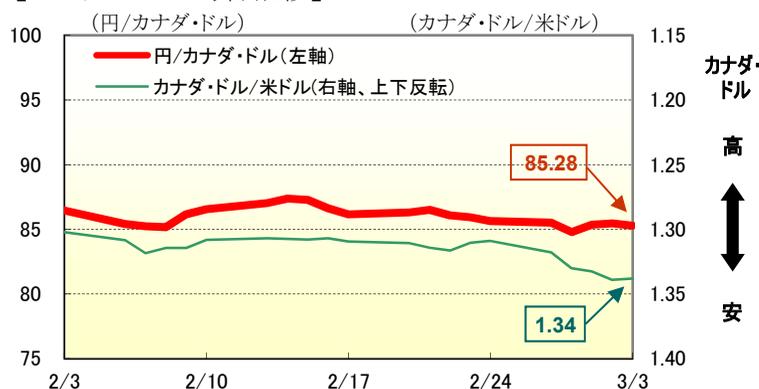
### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場は小幅に下落した一方で、カナダ5年国債利回りは上昇しました。

米国のFRB(米国連邦準備制度理事会)高官から3月利上げの可能性を示唆する発言が相次いだことから、米国の金利が上昇し、カナダの金利もそれに連れて上昇しました。また、カナダのGDP(国内総生産)が市場予想を上回る堅調な結果となったことも金利の上昇要因となりました。為替市場については、原油価格がやや軟調に推移したことから、カナダ・ドル円相場は小幅に下落しました。

カナダの政策金利決定会合では市場の予想通り政策金利は据え置きとなりました。また、トランプ大統領の議会演説については特に目新しい内容は発表されず、市場への影響は限定的でした。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年2月3日～2017年3月3日)



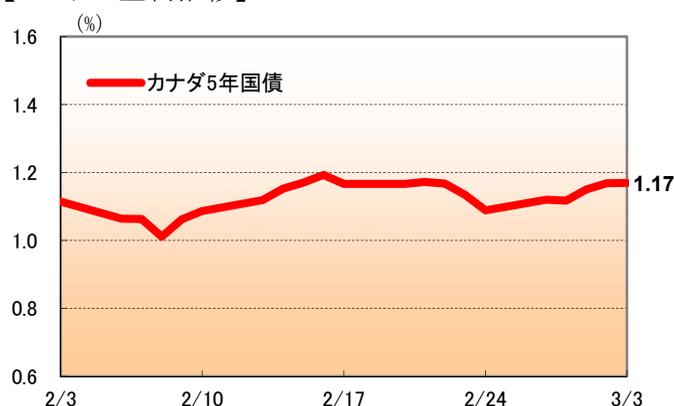
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【2】今週の見通し

今週は、米国、カナダの経済指標が注目材料です。米国では雇用統計、カナダでは雇用者数や貿易収支に注目が集まるとみられています。これらが堅調な結果となればカナダ・ドル、金利の上昇要因になるとみられます。

来週には米国でFOMC(米国連邦公開市場委員会)が開催されますが、足元のFRB高官の発言や金融市場の落ち着きなどを勘案すると、利上げに踏み切る可能性が高いと考えています。米ドル円の上昇につながる材料であり、米国雇用統計以降の市場の反応を特に注視しています。

【カナダ 金利推移】 (2017年2月3日～2017年3月3日)



### 【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ
3/2	-	-	政策金利	0.50%
3/2	毎月	2016年12月	GDP(前年同月比)	2.0%
3/2	四半期毎	2016年10-12月期	GDP(前期比、年率)	2.6%
3/7	毎月	2017年1月	貿易収支(実額)	-
3/10	毎月	2017年2月	雇用者数(前月差)	-

(参考) 前回
0.50%
1.9%
3.8%
9.2億カナダ・ドル
48.3千人

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>